

「献血」は、病気やけがで「輸血」を必要
としている人を救うためになくはなら
ないボランティアです。このことを中学生
の皆さんにも知ってもらいたい!
そして、皆さんが描いたポスターを見た
多くの人たちに「献血って大事なんだ」と
感じてもらいたい!
そのような願いから、今年もジュニア献
血ポスターコンクールを実施します。

ジュニア 献血ポスター コンクールの お知らせ



福島県献血マスコット
キビチーちゃん

中学生の皆さんへ
のお願い

このコンクールは、福島県が主催し、
福島県教育委員会・福島県献血推進協会が後援しています。

「献血って痛くないの?」実は、針をさすとき、ちょっとだけガマンが必要です。

でも献血のあとには「病気やけがで困っている人を助けることができた!」という満足感が皆さんの心に広がると思います。
皆さんがもう少し大人になったら、ぜひ、献血にご協力ください。皆さんのほんのちょっとした勇気が誰かの「命」をささえます。

血液の 基礎知識

- 赤血球…酸素を運ぶ働きをしています。
- 白血球…病原体とたたかい、病原体から体を守ってくれます。
- 血小板…けがをして出血したときなどに血を止めてくれます。

献血の 基礎知識

- 種類…200mL献血、400mL献血、成分献血という種類があります。
- 年齢…200mL献血は16歳から、400mL献血は男性は17歳、女性は18歳から、成分献血は18歳から協力することができます。

応募しめきり

令和4年9月16日(金)

応募できる人

福島県の中学校
又は特別支援学校中学部等に通っている
中学生

応募の方法

応募作品は中学校又は特別支援学校に提出
してください。※折り曲げ厳禁

応募するときの注意

- 作品は、皆さん自身が描いた未発表のものに限り、1人1点までとします。
- このお知らせの下にある応募票に、名前、中学校名、学年をはっきりと書いて、作品の裏面にはって提出してください。
なお、名前には、必ず「ふりがな」をふってください。

ポスターの内容

献血の大切さを表現したもの
献血の大切さを表現することばや文章を
図案の中に必ず入れてください。

なお、日本赤十字社のマーク(+)を使用する際は、その上に文字を書き込んだり、色を変えたりしないでください。

ポスターの大きさ

大きさは四ツ切(392mm×542mm)、B3判(364mm×515mm)、またはA3判(297mm×420mm)で、ヨコ型とします。

タテ型や規格外の大きさの場合、審査の対象になりません。

審査及び発表

審査会を開催して、次のとおり受賞作を決定し、その結果を福島県薬務課ホームページに掲載します。受賞された方には、学校を通じてお知らせします。また、福島市において、表彰式を開催する予定です。

個人部門

- 最優秀作品 1点 (賞状及び記念品)
- 優秀作品 2点 (賞状及び記念品)
- 入選 8点以内 (賞状及び記念品)

団体部門

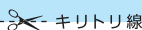
- 学校賞 2校 (賞状及び記念品)

受賞作品の使い道

受賞したいくつかの作品を1枚のポスターにして、各中学校等に配ります。

応募作品の帰属

応募作品の著作権は福島県に帰属します。また、応募作品は返却しません。



令和4年度 献血ポスターコンクール応募票

ふりがな
名前

中学校名

学年 年



献血って どうして 必要なの？

「献血」とは、病気やけがで輸血や血漿分画製剤を必要とする患者さんのために、自分の血液を自発的かつ無償で提供することです。

病気やけがで血液が必要な患者さんは、健康な人の血液を補給して治療する必要があり、これを「輸血」といいます。

また、「血漿分画製剤」は、やけどや感染症、血友病の治療などに使われる医薬品で「血液」からつくられます。

この「血液」は、国民の皆様の善意の献血によって提供されているのです。

献血のご協力をお願いする理由 (輸血用血液の場合)

人工的に造れない！

現代は、医療技術がどんどん進歩しています。しかし、輸血用血液はいまだに人工的に造ることができません。

長期保存ができない！

血液は、生きた細胞の集まりなので、長い間保存できません。いつでも患者さんに血液を届けられるように、毎日新しい血液を確保しなくてはなりません。

献血回数・量には制限がある！

献血いただく方の健康を守るために、1人あたりの年間の献血回数や献血量には上限が設定されています。

そのため、必要な量の血液を集めるためには、多くの方に協力していただく必要があります。

病気の治療に必要です！

輸血はどのような時に使われるのでしょうか？

多くはがん治療で、約40%を占めます。このような病気の治療で、血液は常に必要とされています。

先生方へのお知らせ

応募作品の
提出方法及び
提出先



郵送する場合

〒960-8670 福島市杉妻町2-16 福島県保健福祉部薬務課 宛

持参する場合

福島県保健福祉部薬務課
県北保健福祉事務所(医療薬事課)
県中保健福祉事務所(医療薬事課)
県南保健福祉事務所(医療薬事課)
会津保健福祉事務所(医療薬事課)
南会津保健福祉事務所(医療薬事課)
相双保健福祉事務所(医療薬事課)
福島市保健所(保健総務課医事薬事係)
郡山市保健所(総務課医事薬事係)
いわき市保健所(総務課医事薬事係)

福島市杉妻町2-16 西庁舎7階 TEL024-521-7232
福島市御山町8-30 TEL024-534-4103
須賀川市旭町153-1 TEL0248-75-7817
白河市郭内127 TEL0248-22-5479
会津若松市城東町5-12 TEL0242-29-5512
南会津町田島字天道沢甲2542-2 TEL0241-63-0306
南相馬市原町区錦町1-30 TEL0244-26-1330
福島市森合町10-1 TEL024-597-6221
郡山市朝日2-15-1 TEL024-924-2120
いわき市内郷高坂町四方木田191 TEL0246-27-8590

福島県薬務課ホームページの献血ミュージアム「アートギャラリー」で過去の受賞作品を見ることができます。

ホームページアドレス <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21045f/top-gallery.html>